

大学自己点検・評価における「目標」「指標」の修正・変更・追加 新旧対照表

変更前

変更後

<全学的な視点>

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室、入試部
大項目	5 学生の受け入れ 《全学的な視点》	
中項目		

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 入学定員に占める一般選抜入学試験の入学者と各種入試の入学者の比率を各学部において6対4とする。	→各学部において一般選抜入試：各種入試の比率60：40を達成すること

削除

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室、入試部
大項目	5 学生の受け入れ 《全学的な視点》	
中項目		

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
削 除	削 除

追加

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 一般選抜入学試験の入学試験定員と各種入試の入学試験定員の比率の最終目標を5対5とし、当面、各学部において6対4とする。最終目標は、各学部の志願者数・歩留率などの状況に応じて、順次改訂し達成するものとする。	→各学部の入学試験定員における、一般選抜入試：各種入試の比率

対象部局	統括部局：教務部	担当部局：教務部
大項目	6 教育内容・方法・成果 《全学的な視点》	
中項目	6.2 教育課程・教育内容	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
5. MDS、ジョイントディグリー制度の改善を図り、MDS修了者数及び二学位取得者数を増加させる。	→MDS修了者数を1.5倍、及び二学位取得者数を2倍にする。

修正

対象部局	統括部局：教務部	担当部局：教務部
大項目	6 教育内容・方法・成果 《全学的な視点》	
中項目	6.2 教育課程・教育内容	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
5. MDS制度の改善を図り、MDS修了者数を1.5倍にする。	→MDS修了者数
6. ジョイント・ディグリー制度の改善を図り、二学位取得者数を2倍にする。	→ジョイント・ディグリー制度による二学位取得者数

対象部局	統括部局：学生部	担当部局：学長室・教務部・総合支援センター・学生部
大項目	8 学生支援 《全学的な視点》	
中項目		

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
4. 関学支給奨学金（経済支援型奨学金）対象者数を増加させ、関学貸与奨学金（入学時及び家計急変等の緊急時対応）の目的を特化させる（貸与奨学金の定期採用に代えて、支給奨学金の規模を拡大する）。	→現行、貸与奨学金（定期採用）の予算約8,500万円のうち、1,000万円（25名程度採用可能）を補充採用分として確保し、残額を支給奨学金予算（現行約2億9,300万円）に上乗せする。これにより、支給奨学金の採用者数を250名程度増加させる（1名当たり30万円支給とした場合）ことが可能となる。なお、奨学金の全体像について整備が必要であり、現行の支給奨学金の選考方法等についても見直すこととしている。

削除

対象部局	統括部局：学生部	担当部局：学長室・教務部・総合支援センター・学生部
大項目	8 学生支援 《全学的な視点》	
中項目		

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
削 除	削 除

追加

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 2013年度入学者を対象とした入学前予約型奨学金制度を実施する。	→実施の有無
5. 2013年度より、現行支給奨学金制度の募集時期を変更する。	→実施の有無
6. 2013年度より、緊急時貸与奨学金制度を実施する。	→実施の有無

大学自己点検・評価における「目標」「指標」の修正・変更・追加 新旧対照表

変更前

対象部局	統括部局：教務部	担当部局：研究推進社会連携機構・学長室・教務部
大項目	9 教育研究等環境 《全学的な視点》	
中項目		

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 【9.0.4】全キャンパスの整備充実計画を策定する委員会を設置し、統合的かつ継続的な整備を行う。（教務部）	→【9.0.4】「各キャンパスの整備・充実計画の進捗状況」（教務部）

削除

対象部局	統括部局：教務部	担当部局：研究推進社会連携機構・学長室・教務部
大項目	9 教育研究等環境（研究科）《全学的な視点》	
中項目		

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 【9.0.4】全キャンパスの整備充実計画を策定する委員会を設置し、統合的かつ継続的な整備を行う。（教務部）	→【9.0.4】「各キャンパスの整備・充実計画の進捗状況」（教務部）

削除

変更後

対象部局	統括部局：教務部	担当部局：研究推進社会連携機構・学長室・教務部
大項目	9 教育研究等環境 《全学的な視点》	
中項目		

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
削除	削除

対象部局	統括部局：教務部	担当部局：研究推進社会連携機構・学長室・教務部
大項目	9 教育研究等環境（研究科）《全学的な視点》	
中項目		

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
削除	削除

大学自己点検・評価における「目標」「指標」の修正・変更・追加 新旧対照表

変更前

変更後

<個別的な視点>

対象部局	理工学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
2. 障がいのある学生の受け入れ体制を点検・改善する。	→障がいのある学生への聞き取り調査

変更

対象部局	理工学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
2. 障がいのある学生の受け入れ方針を点検・改善する。	→障がいのある学生への聞き取り調査

対象部局	理工学部
大項目	7 国際交流
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 留学生を受け入れ、国際的視野をもつ人材を育成する。	→海外の提携高校等の設置状況

変更

対象部局	理工学部
大項目	7 国際交流
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 留学生を受け入れ、国際的視野をもつ人材を育成する。	→留学生の受け入れ人数

対象部局	教育学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
2. 教育者養成を核としたアドミッションポリシーの理解を学部としてより深める。	→「各種の入試関係の委員会の開催状況」「入試制度検討委員会の開催頻度と検討の進捗状況」

追加

対象部局	教育学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
2. 教育者養成を核としたアドミッションポリシーの理解を学部としてより深める。	→「各種入試関係の委員会の開催状況」「入試制度検討委員会の開催頻度を検討の進捗状況」「オープンキャンパスでの事前相談の教員配置状況」

追加

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 在籍学生数を学科・コースごとに収容定員に合わせる。	→収容定員（幼児・初等教育学科幼児教育コース560名、初等教育コース570名、臨床教育学科280名）に対する在籍学生数の比率

対象部局	国際学部
大項目	7 国際交流
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 原則として短期留学（約1ヶ月）、中期留学（約4ヶ月）、長期留学（約半年、約1年）のいずれかのプログラムに学生を参加させ、外国人留学生を除く全学部生を留学させる。	→1. 指標：外国人留学生を除く、学年毎の留学参加率（平均） 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D

修正

対象部局	国際学部
大項目	7 国際交流
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 原則として短期留学（約1ヶ月）、中期留学（海外インターシップ含む、約4ヶ月）、長期留学（約1年または半年）のいずれかのプログラムに学生を参加させ、外国人留学生を除く全学部生を留学させる。	→1. 指標：外国人留学生を除く、学年毎の留学参加率（平均） 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D

大学自己点検・評価における「目標」「指標」の修正・変更・追加 新旧対照表

変更前

対象部局	商学研究科
大項目	4 教育研究組織（研究科）
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
2. 学部の使命・目的に照らして商学部の教育研究組織が妥当であるか否かに関して、継続的に検証する。	→妥当性の常時継続的検証のための会合開催回数

対象部局	理工学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果（研究科）
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 修士及び博士学位取得基準と達成学習目標を2010年度中に明文化し、公表する	→公表したホームページ

対象部局	言語コミュニケーション文化研究科
大項目	0 理念・目的（研究科）
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
3. 国際的に活躍できる研究者・大学教員を養成する。	→進路調査の実施（研究者数）。

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	0 理念・目的（研究科）
中項目	

対象部局	災害復興制度研究所
大項目	4 教育研究組織
中項目	

対象部局	司法研究科
大項目	1 運営と自己改革
中項目	

変更後

対象部局	商学研究科
大項目	4 教育研究組織（研究科）
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
2. 研究科の使命・目的に照らして教育研究組織が妥当であるか否かに関して、継続的に検証する。	→妥当性の常時継続的検証のための会合開催回数

対象部局	理工学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果（研究科）
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 修士及び博士学位取得方針と達成学習目標を2010年度中に明文化し、公表する	→公表したホームページ

対象部局	言語コミュニケーション文化研究科
大項目	0 理念・目的（研究科）
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
3. 国際的に活躍できる研究者・大学教員を養成する。	→進路調査の実施（研究者数）。国際学会での発表回数

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	0 理念・目的（研究科）
中項目	

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 毎年2回開いている入試説明会で理念・目的を参加者に説明する。	→入試説明会の開催回数と参加人数

対象部局	災害復興制度研究所
大項目	4 教育研究組織
中項目	

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 東日本大震災後の復興に対して本研究所が提起する「人間復興」の理念を実現するために、あらゆる機会を通じて、政府を含む関係諸組織に働きかける。	→福島県避難者総合支援プロジェクト遂行のための研究会・調査・イベント等の数

対象部局	司法研究科
大項目	1 運営と自己改革
中項目	

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」
1. 研究科内法律事務所の設置。（6-2より移動）	→法律事務所の開設場所、人数、教員の身分、事務所経費等の決定

修正

変更

追加

追加

追加

追加

大学自己点検・評価における「目標」「指標」の修正・変更・追加 新旧対照表

変更前			変更後	
対象部局	司法研究科		対象部局	司法研究科
大項目	5 カリキュラム		大項目	5 カリキュラム
中項目			中項目	
2009年度に設定した「目標」			2009年度に設定した「目標」	
2. 基礎演習Ⅱ開講クラス数の半数を実務家教員が担当する。		削除	削 除	
左記目標の「指標」			左記目標の「指標」	
→実務家教員の基礎演習Ⅱ担当クラス数			削 除	
			2010年度以降に設定した「目標」	
		追加	1. 基礎演習Ⅰ開講クラス数の半数を実務家教員が担当する。	
			→実務家教員の基礎演習Ⅰ担当クラス数	
対象部局	司法研究科		対象部局	司法研究科
大項目	6 授業		大項目	6 授業
中項目			中項目	
2009年度に設定した「目標」			2009年度に設定した「目標」	
2. 研究科内法律事務所の設置。		削除	削 除 (1に移動)	
左記目標の「指標」			左記目標の「指標」	
→法律事務所の開設場所、人数、教員の身分、事務所経費等の決定			削 除	
対象部局	司法研究科		対象部局	司法研究科
大項目	7 法曹に必要な資質・能力の養成		大項目	7 法曹に必要な資質・能力の養成
中項目			中項目	
2009年度に設定した「目標」			2009年度に設定した「目標」	
1. 外部評価システムを新設する。		削除	削 除 (1-1と重複のため)	
左記目標の「指標」			左記目標の「指標」	
→学外者による評価体制の構築			削 除	
			2010年度以降に設定した「目標」	
		追加	1. 新司法試験合格率を向上させる。	
			→本学の合格率と全国平均との比較	
			2. 法曹外の法務関係業務への人材育成。	
			→法務関係(公務員、裁判所職員、企業法務等)への就職者数	
対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻		対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	3 教育方法		大項目	3 教育方法
中項目			中項目	
2009年度に設定した「目標」			2009年度に設定した「目標」	
2. 50名を超える履修者がいるクラスには、クラス分割クラス指定等の措置を検討する。		追加	2. 50名を超える履修者がいるクラスには、クラス分割クラス指定等の措置を検討する。	
左記目標の「指標」			左記目標の「指標」	
→			→各開講科目の履修者数	
対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻		対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	5 教育内容等の改善措置		大項目	5 教育内容等の改善措置
中項目			中項目	
2009年度に設定した「目標」			2009年度に設定した「目標」	
2. 実務家教員における教育上の経験及び研究者教員における実務上の知見の確保のしくみを構築する。		追加	2. 実務家教員における教育上の経験及び研究者教員における実務上の知見の確保のしくみを構築する。	
左記目標の「指標」			左記目標の「指標」	
→			→授業参観およびFD研究会の開催回数	

大学自己点検・評価における「目標」「指標」の修正・変更・追加 新旧対照表

変更前

対象部局	経営戦略研究科・経営戦略専攻
大項目	5 管理運営と施設支援
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
2. Have a multi-purpose room at Umeda campus where students can have group works and discussions even after 10pm. 大阪梅田キャンパスに午後10時以降もグループワークやディスカッションが可能な多目的室を設置する。	→Acquire 3 rooms that can be used after 9:30-class is finished and are open until 11pm. 午後9時30分の授業が修了後、午後11時まで使用可能な部屋を3室確保する。



変更後

対象部局	経営戦略研究科・経営戦略専攻
大項目	5 管理運営と施設支援
中項目	

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」
削除	削除